



鈴木 みどり 議員
やとみ志政会

問 ジェンダー平等の進捗状況は

答 意識や取組が広まってきている



▲SDGsの17の目標

○行政委員会について以下を問う。

問 女性が参加していない委員会は。

答 **〔市民生活部長〕** 令和4年4月1日時点で、公平委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会。

問 女性登用している委員会はいつからか。

答 選挙管理委員会は平成20年、農業委員会は平成21年、教育委員会は平成23年から登用している。

問 女性登用のきっかけは。

答 男女共同参画施策の進捗が、国県などで示されたことなど影響している。

○行政について以下を問う。

問 すべての委員会に女性を登用すべきでは。

答 積極的な登用に努める。

問 女性管理職の割合目標と達成率は。

答 **〔総務部長〕** 管理的地位の女性割合を11%以上、課長補佐級の女性割合を40%以上にする。4年度の管理的地位の女性割合は5.6%、課長補佐級の女性割合は25%。

問 ジェンダー平等に関する研修が必要では。

答 新規採用職員研修や階層別研修課程で実施。

問 すべての審議会に女性を登用すべきでは。

答 **〔市民生活部長〕** 「審議会等委員への女性登用推進方策」の要綱を活用し、女性委員比率の目標値達成に向け取り組む。

問 ホームページに女性相談窓口を載せるべきでは。

答 **〔教育部長〕** 初任者研修、2年目・3年目、中堅者研修などの法定研修や教務主任、教頭、校長研修などの機会に実施。

答 **〔健康福祉部長〕** 他自治体を参考に、掲載していく。

問 セクシャルハラスメントやDVの年間相談数は。

答 令和4年度、DV相談は現在10人から延べ72件の相談。セクハラ相談はなし。

問 教育現場のジェンダー平等は

問	教育現場のジェンダー平等は
答	学校では人権研修を実施

問 男女混合名簿の導入は。

答 令和5年度から全小中学校に導入するよう準備を進めている。

問 児童生徒に対する呼び方は。

答 教育長から校長会にて「さん」が適切である旨の指示が出ている。

問 市長総括を。

答 **〔市長〕** 個人としての人権が尊重され、その人らしく輝けるまちづくりを目指していく。

